

東北学院高等学校硬式野球部



今回お話を伺った東北学院高等学校さんは、平成 17 年に宮城野区小鶴に校舎を移転し、平成 22 年 4 月より硬式野球部が学校周辺のボランティア清掃を続けています。その日々の活動について平成 27 年度仙台市公衆衛生功労者等表彰式(※)において、「環境美化活動優良団体」として表彰されました。そこで、硬式野球部の渡辺徹監督と部員のみなさんに日々のアレマ活動についてお話を伺いました。



さっそく、練習中のグラウンドにお邪魔すると部員のみなさん一人一人がきびきびとした態度で練習に励んでいました。

・校門前のクリスマスのイルミネーションが輝いていました

私たちを見かけると、きちんと立ち止まり、足を揃え、大きな声であいさつをしていただき、部員のみなさんのまっすぐな姿勢にお話を伺う前から感動してしまいました。

そんな硬式野球部のみなさんがごみ拾い活動を行うようになったきっかけは、渡辺監督と部長さんと相談し、お世話になっている地域のみなさんに恩返しをしたいという思いと、部員の人間的な成長のためにと考えたからとのこと。

ごみ拾い活動は、月曜から金曜の朝 7 時 30 分から 7 時 50 分まで。当日の参加人数によっては 3~4 のルートに分かれて活動しています。ルートに分けるのは部員のみなさんの考えで、広い範囲でごみ拾い活動を行えるようにとのこと。

活動中に拾うごみの種類は、学校周辺の道路ではたばこの吸い殻、学校の敷地内ではパンの袋が多いそうです。また、学校の敷地内に落ちていたと思われるパンの袋が、付近の田んぼに落ちていることがあるので注意して拾っていますとのこと。

活動を始めて、部員のみなさんが毎日書いている日誌にも目に見えて良い変化が感じられ、活動を始めた意義があると渡辺監督も感じられているそうです。

ごみ拾い活動をするようになり、観察する力、小さな変化に気づく力が養われているのが分かるそうです。

ごみ拾い活動は授業の前に制服のままで活動しているとのこと。制服を着て活動するのは、学校に誇りを持って活動している表れのように感じます。

今後の活動についてお尋ねすると、活動範囲をもっと広げていきたいと力強く前向きにお話ししてくれました。

学校法人東北学院は、平成 28 年に 130 周年を迎えられるそうです。この活動が部員のみなさんの成長の糧となるとともに地域の環境美化に貢献するものとして新たな伝統となることを期待しています。



♪笑顔での集合写真。チームの仲の良さが感じられます

※仙台市公衆衛生功労者等表彰式・・・公衆衛生や環境の分野において、永年にわたり活動されており、功績のあった個人、団体を表彰する式典です。